

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 28年 4月 18日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ツクリヤマコフンソセイカイ
団体名 造山古墳蘇生会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ 地域課題解決 ☐ 地域課題掘り起し ☐ 地域計画づくり ☐ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ その他
事業名	造山古墳を活かしたふるさとづくり
事業実施区域 (小学校区)	造山古墳とその周辺 (加茂学区)
事業 実 施 内 容	①地元小・中・高の児童や生徒及び予約の有った学校の地域学習に協力し、造山古墳の案内を行った。 *資料—1 (ガイド実績表・写真) ②冊子「古墳のなぞ」「ガイドマップ」を改訂し、案内した各校の復習用に提供した。 *資料—2 (現品) ③鳴屋塾(講演会)1回、ガイド養成講座4回を開催した。 *資料—3 (チラシ・写真) ④シーズン前と後のガイド懇談会や反省会、企画委員会等開催し、ガイドの結束や意思疎通を良くすると共に、2年ぶりに県外視察研修を実施、奈良県佐紀古墳群のボランティアガイドと交流し研鑽に務めた。 *資料—4 (写真) ⑤各種会議開催の中で、知名度アップの策として初の試みである造山古墳とその周辺の四季をテーマにフォトコンテスト実施案が浮上し、ポスター、応募チラシを作り岡山市全公民館や備前県民局等にも配布した。 *資料—5 (ポスター・チラシ現品) ⑥加茂小の「造山古墳クリーン大作戦」は今回保護者も参加し、環境衛生委員、地元民、蘇生会ガイド等が清掃活動後、共に昼食をとりながら交流を深めた。また、今年初めて高松農高の地域学習を兼ねた清掃奉仕活動(学校から造山古墳の区間)後に造山古墳を案内した。 *資料—6 (写真) ⑦見学者へのおもてなしとして見学通路の安全確保の為、草刈りを5月、9月に実施した。 *資料—7 (写真)

事業目的と その達成 状況と 効果	①全国屈指の文化遺産でありながら地域の認識が低い「造山古墳」を世に広め、見学者を増やし、学区の知名度を高める。 ・日曜、祝祭日の自主的な待受けガイドや平日のオフ会対応を7年間続けてきた結果、古墳の本場である大阪、奈良方面からの一般見学者が増えてきた。小学校の校外学習では見学校も徐々に増える中、24校（1,821名）の案内を行い過去最高となった。その中で心温まるお礼状もいただくことができ、ガイドのモチベーションを高めてくれた。*資料—8（お礼状） *資料—9（コピー） ②少子高齢化が進み、話題性の乏しい地域に話題を提供し地域の活性化につなげる。 ・高松公民館と連携し、高名な講師を招き鴨屋塾やガイド養成講座を開催した。いずれも100名超の受講者で盛況であった。最近では近隣地区の常連も現れている。造山古墳のお膝元にある公民館のブランド化につながり、講演会は質疑応答で活気に満ちている。*資料—3（写真参照） ・新聞報道や広報紙に掲載され話題提供ができています。*資料—10（現品・コピー） ③次代の担い手である子どもたちに「造山古墳」の偉大さを語り継ぎ、世代間交流を通じ、自慢でき、誇れる地域であることを学ばせる。 ・地元の小、中、高校は「歴史と文化のまち高松」を学ばせる地域学習に「造山古墳」を取上げてくれ、定着して来た。清掃奉仕活動をする中で地域の歴史を学んだり、地域の言い伝えや習慣も語り継げる機会になっている。特に加茂小の「造山古墳クリーン大作戦」では従来と少し変わり、保護者も初めて参加し、子どもたちが自分で作ったおにぎりを食べ、また他の参加者も弁当を共に食べながら地域談義に花を咲かせ交流を深めた。*資料—6、8参照 ・校外学習で学んだ「造山古墳」を題材にした子どもたちの学習発表会を見学した。自分たちのふるさとが自慢でき誇れる地域であることを意識してくれていることを確認できた。*資料—11（学習発表プログラム）
企画などの工夫と情報公開	①ガイド女性の活躍 ・ボランティアガイドのホームページを立上げ。（6月3日） カレンダー機能を利用できるようになり、パソコンが出来る人はガイド出来る日を直接打ち込めるようになった。（切手ハガキ等通信運搬費の経費低減化） 見学希望者にメール機能を利用したオフ会が出来るようになった。 *資料—12（コピー） ・県外視察研修を全て企画 奈良県佐紀古墳群へのバスツアー（11月3日） *資料—4 写真参照 ・第3回造山古墳まつり企画委員会立上げ * // // ②情報公開 ・インターネット 学区ホームページ、フェイスブック、ボランティアガイドのホームページ 日本経済新聞Web刊 *資料—12、13 ・新聞報道 山陽新聞 平成28年1月21日付け「古代吉備から学ぼう 23日から講座」 平成28年3月20日付け「造山古墳の四季を写真に」 *資料—10 ・広報紙 岡山市教育広報紙「こらぼ」 高松公民館報「まつかぜ」 *資料—10

次 年 度 計 画	①話題提供 ・引き続き著名な講師を招いて養成講座や講演会等を開催する。 ・フォトコンテスト実施で年間を通じたPRを行う。 ・平成29年4月16日開催の第3回造山古墳まっりのPR等 ②造山古墳の認識度向上 ・インターネットを活用した発信をしていく。 認識度が向上してきたプラス部分に比例し、人の往来が増え古墳駐車場一帯やトイレの維持管理及び保守が問われてきている。新たな負の課題が生まれてきている。タバコの吸殻や空き缶の投げ捨てトイレの使用等にマナーの悪さが目につきだした。 ③高齢者の経験を活かした語り継ぎ ・地域学習や清掃奉仕活動に協力し、交流を深める。 ④郷土に対する愛着心やつながりを高める ・地域を自慢でき、誇りに思えるよう学ばせる。 ⑤第3回造山古墳まっりに向けたオリジナル品の開発 ・千足古墳の直弧文デザインを模したチョコレート試作を手掛ける。 意匠登録の可能性を探る。
事業実施者としての評価・感想など	①代わり映えのしない事を過去7年間続けてきている。その意味では持続可能な地域づくりを進めることができているのではないか。毎年同じ事や同じ内容であっても対象となる子どもたちは毎年替わる。その都度新鮮な反応に出くわすし、我々にも子どもたちのエネルギーを享受できている。「遠足」が校外学習に変わり、地域学習に変わる現在、我々との交流が彼らに影響を与え、ふるさとの良さを再認識する事は間違いないと確信している。 ②今年度は女性が特に力を発揮してくれた。それも年齢的には50代であり、末長い活動が見込まれ嬉しい限りだ。これからも女性に輝いてもらえるような様々な役割を担ってもらいたいと考えている。 ③経験を積んだガイドが多くなると各自勉強しており、養成講座での講師との質疑も専門的になっていく。新しくガイドに応募しようと思って受講している人たちもそのやり取りを聞いて腰が引け、逃げられることが出て来た。 ④事業を実施する中で、様々な人との交流があった。年齢とともに交流範囲が狭まっていくのが常であるのに対し、逆に増え、人生を楽しくしてくれている。有難いことだ。 ⑤過去の審査で指摘事項として上がったものに ・事業内容で「事業内容が目新しいものではない」 ・創造性で「区づくり推進事業に適しているか疑問である」 ・高齢者の生きがいづくりに貢献していると評価しているが、数人の生きがいづくりで地域住民の生きがいづくりに言えるか？」等々があり、厳しい意見を伺った。 誰が何と言おうと勝手であるが、人生の最終章を迎え、この世に何かを遺せないものかと愚直に思っている人間が純粋な気持ちの児童たちと向き合って元気を貰っていると云うことがとても素晴らしいことだと教えて差し上げたいものである。

■収 支 決 算 書

◆収 入

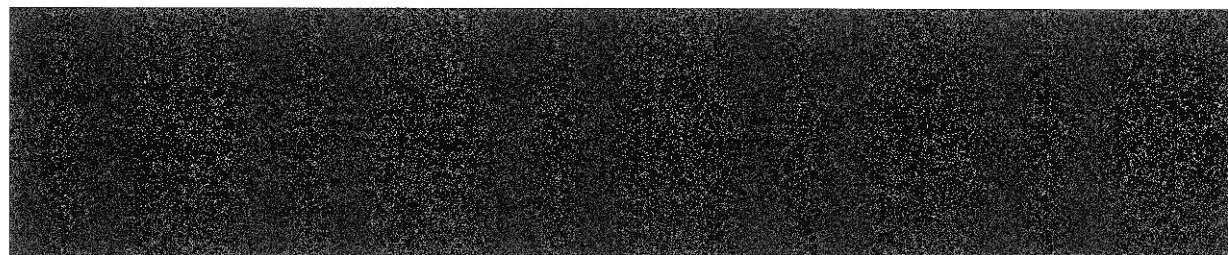
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	250,000	170,000	
負担金	64,669	80,000	
協賛金	170,000	71,504	
寄付、他収入	15,331	18,500	
計	500,000	340,004	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	30,000	4,895	インク、テープなど
食糧費	30,000	9,633	会議、ガイド用
印刷製本費	160,000	176,382	冊子、ガイドマップ
通信運搬費	110,000	60,370	電話料金、郵送料
手数料		1,404	振込手数料
使用料		2,540	公民館使用料
広告料	3,000		
委託料			
報償費	60,000	60,000	講師謝礼、資料作成費
旅費交通費	40,000	780	高速通行料金
保険料	25,000	24,000	ガイド傷害保険(30名)
その他経費	42,000		
計	500,000	340,004	



■事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

■事業実施経過

年 月 日	内 容
平成 27 年 4 月 1 日	鴨屋塾講師 大阪市大准教授 [REDACTED] と講演スケジュール協議
4 日	ボランティアガイドシーズン前の懇談会
24 日	吉備中央町下竹荘小 11 名古墳案内 今年度の校外学習始まり
28 日	大元小 190 名 芳田小 100 名案内・市教委教育情報誌こらぼ取材受け
30 日	高松農業高校 1 年 80 名 清掃活動と地域学習案内
5 月 5 日	総社東公民館「史跡ウォーキンググループ」12 名案内
7 日	平福小 108 名、南輝小 90 名案内
8 日	伊島小 140 名、水島小 24 名、灘崎小 58 名、倉敷西小 55 名案内
9 日	造山古墳見学通路の草刈り
11 日	高知県南国市立後免野田小 25 名案内(修学旅行)
12 日	吉備高原イキイキ会 20 名、備前観光協会 5 名案内
15 日	御南小 151 名案内
22 日	平島小 43 名案内 鴨屋塾講師 [REDACTED] と打合せ
23 日	造山古墳蘇生会総会及び第 7 回鴨屋塾 講師 [REDACTED]
26 日	庄内小 90 名 作山一角力取山一国分寺一こうもり塚一造山案内
28 日	倉敷市立万寿小 160 名案内
29 日	玉島上成小 84 名、加茂小 32 名案内
31 日	サイクリング協会 30 名案内
〃	高松公民館と古代吉備探訪の講師選出と日程協議
6 月 2 日	三門小 28 名案内
3 日	蘇生会ボランティアガイドホームページ立上げ(グーグルカレンダー)
17 日	加茂小 3 年生 16 名案内 総合学習「お宝発見! 加茂のまち」
18 日	富山小 129 名案内
19 日	倉敷富田小 81 名、連島南小 84 名案内
7 月 7 日	岡山県観光ボランティアガイド連絡会総会 2 名参加(メルパルク)
19 日	高松アクティブホームふれあい夏祭り参加
23 日	千足古墳整備について山陽新聞の取材受け
25 日	ボランティアガイド春シーズン終了反省会(高松公民館)
8 月 1 日	高松公民館主催吉備探訪講座(蘇生会共催)講師:岡山大 [REDACTED]

9月5日～6日	造山古墳見学通路の草刈り
7日	北海道大 [] 教授一行4名案内(内、1名中国人留学生)
19日	高松公民館主催吉備探訪講座(蘇生会共催)給社市埋文 []
25日	備前県民局主催観光ボランティアガイド交流・情報交換会4名参加
10月3日	「第3回造山古墳まつり」企画委員会(高松公民館)
	高松公民館主催吉備探訪講座 講師:岡山市教委 []
13日	ガイド養成講座告知チラシ製作
23日	千葉障害者支援14名案内
24日～25日	まほろば祭り準備・展示・撤収
26日	サムエル学園5名案内
11月3日	ガイド視察研修日帰りツアー(奈良県佐紀古墳群・平城宮)
6日	岡山家事調停協会30名案内
8日	大阪大学鴻志会18名案内
12日	玉野市観光協会40名案内
17日	高松中1年生37名 地域学習案内
21日	加茂小土曜授業「加茂っ子発表会」3年6年生の地域学習成果発表
27日	岡山市北区第2ブロック小学校教頭会10名案内
12月4日	奈良県桜井市観光ボランティア2名案内
7日	歴史作家 [] 一行5名案内
16日	岡山市区づくり推進事業中間監査
23日	「第3回造山古墳まつり」企画委員会(造山公会堂)
平成28年1月28日	平成28年度岡山市区づくり推進事業申請
23日	ガイド養成講座 講師:岡山理大教授 [] 91名参加
2月6日	ガイド養成講座 講師:岡山大助教 [] 109名参加
	吉備路写真クラブ代表 [] にフォトコンテストへの協力要請
18日	加茂小「造山古墳グリーン大作戦」6年生・保護者・環境衛生委員等 50名参加
19日	岡山大教授 [] 引率の外国人一行案内
3月5日	「第3回造山古墳まつり」企画委員会
	ガイド養成講座 講師:岡山大教授 [] 95名参加
18日	観光ボランティアガイド交流会・情報交換会(後楽園・岡山城)
19日	「第3回造山古墳まつり」企画委員会

平成 28 年 3 月 19 日

ガイド養成講座 講師:岡山大教授

98 名参加

ガイドリーダー交代による選出会議開催